



20～40 代の恋愛と結婚

- 第 9 回結婚・出産に関する調査より -

株式会社明治安田生活福祉研究所（社長 木島 正博）は、2016 年 3 月に、全国の 20 歳～49 歳の男女 3,595 人を対象に、「恋愛と結婚」をテーマとする調査を実施しました。

本リリースでは、恋愛や婚活の実態、結婚に対する考え方、結婚生活の実態などについて、調査で明らかになった最新の状況をご紹介します。

< 主 な 内 容 >

○理想の結婚相手 有名人では？ 上戸彩 さん つるの剛士 さん (5 ページ)	○結婚願望があるのは ◆20 代男性は 3年前 67%⇒今回 39% ◆20 代女性は 3年前 82%⇒今回 59% (7 ページ)	○恋人がいる 20 代 男性は5人に1人 女性は3人に1人 ○20 代未婚男性の 2人に1人は 交際経験なし (8 ページ)
○20～40 代の婚活経験者 ◆男性 3年前 29%⇒今回 27% ◆女性 3年前 45%⇒今回 39% (10 ページ)	○30 代未婚女性が結婚相手に年収 400 万円以上を希望 68% ○30 代未婚男性で年収 400 万円以上 37% (11 ページ)	○結婚をコスパで考えたことがある 20～40 代 未婚男性の 38% 未婚女性の 45% (13 ページ)
○20～40 代の結婚生活への満足度は 59% ○年収が高いほど 「生活に満足」 「また同じ人と結婚したい」 (23 ページ)	○妻は専業主婦がよい 20～40 代男性 37% 20～40 代女性 43% ○夫婦別姓には賛成 20～40 代男性 40% 20～40 代女性 41% (25 ページ)	○離婚を意識する 20～40 代 男性の5人に1人 女性の4人に1人 ○「性格・価値観の不一致」 「金銭感覚の不一致」 の理由が上位 (27 ページ)

ご照会先

(株)明治安田生活福祉研究所
生活設計研究部
横田・萩行・小島

電 話：03(3218)4014 FAX：03(3201)7837
Eメール：ke2-kojima@myilw.co.jp

20・30代の未婚男女の恋愛や結婚の意識等は、3年前と比べると大きな変化が見られます。

- ・男女ともに「結婚願望のある人」は大幅に減少し、「恋人がいる人」・「交際経験がある人」や「婚活経験のある人」も減少傾向です。
- ・タイプや行動様式も、「インドア派」が増加し社交的でなくなっている傾向が見られます。
- ・結婚をコストパフォーマンスで考えたことがある人は4割となっており、未婚女性が結婚相手に望む年収の希望額と実際の男性の年収のギャップは大きく、そのことも男性が恋愛や結婚に消極的になっている理由の一つです。

<20・30代未婚者の意識・実態>

	2016年		2013年	項目	2013年		2016年	
20代男性	22.3%	↙	33.3%	恋人がいる	42.6%	↘	33.7%	20代女性
	46.7%	↙	69.8%	交際経験あり	72.1%	↘	66.0%	
	38.7%	↙	67.1%	結婚したい	82.2%	↘	59.0%	
	20.0%	↙	22.1%	婚活経験	36.4%	↘	34.0%	
	19.3%	↙	30.2%	自分は社交的なタイプだ	37.6%	↘	17.7%	
	36.7%	↙	47.3%	休日は家にいるより出かけるほうが好き	49.2%	↘	35.7%	
	11.3%	↙	17.8%	恋愛に関しては積極的に行動するほうだ	22.1%	↘	16.0%	
	31.3%	—		結婚をコストパフォーマンスで考えたことがある	—		44.7%	
	15.2%	年収400万円以上			結婚相手に希望する最低年収が400万円以上		57.1%	
30代男性	18.0%	←	17.1%	恋人がいる	36.8%	↘	26.7%	30代女性
	62.0%	↙	69.7%	交際経験あり	85.2%	↘	74.3%	
	40.3%	↙	52.9%	結婚したい	60.3%	↘	45.7%	
	31.0%	↙	32.6%	婚活経験	52.6%	↘	43.0%	
	16.7%	↙	18.4%	自分は社交的なタイプだ	22.6%	↘	17.7%	
	34.7%	↙	36.1%	休日は家にいるより出かけるほうが好き	36.5%	↘	32.3%	
	8.3%	↙	10.0%	恋愛に関しては積極的に行動するほうだ	12.9%	→	13.7%	
	45.7%	—		結婚をコストパフォーマンスで考えたことがある	—		48.3%	
	37.0%	年収400万円以上			結婚相手に希望する最低年収が400万円以上		67.9%	

＜ 調査の概要 ＞

- (1) 調査対象： 全国の 20 歳以上 49 歳以下の男女
- (2) 調査方法： WEB アンケート調査（株式会社クロス・マーケティング登録モニター対象）
- (3) 調査時期： 2016 年 3 月 11 日～3 月 16 日
- (4) 回 収 数： 3,595 人
- (5) サンプルの属性

		結婚経験なし	結婚経験あり(*)		計
			子どもあり	子どもなし	
20～24 歳	男性	150	16	17	183
	女性	150	93	69	312
25～29 歳	男性	150	100	100	350
	女性	150	100	100	350
30～34 歳	男性	150	150	100	400
	女性	150	150	100	400
35～39 歳	男性	150	150	100	400
	女性	150	150	100	400
40～44 歳	男性	50	100	49	199
	女性	50	100	51	201
45～49 歳	男性	50	100	50	200
	女性	50	100	50	200
計		1,400	1,309	886	3,595

(*) 離別、死別を含む。

(6) サンプル数について

この調査では、上記の各属性ごとに相当数のサンプルを収集して分析を行なうことを目的としています。そのため、当資料では人口比等による補正は行なっておりません。

(7) 前回調査について

本調査では、当研究所が 2008 年度に行なった第 4 回調査と、2013 年度に行なった第 7 回調査のデータを一部用いて比較検証を行なっています。以下本文中では、それぞれ「2008 年度調査」、「2013 年度調査」と表記します。

＜目 次＞

ピックアップ	2
1. 20・30代が考える理想の結婚相手	5
■ 理想の結婚相手を有名人に例えると	5
2. 結婚に対する考え方	7
■ 結婚に対する意向	7
3. 交際の実態	8
■ 交際相手の有無	8
■ 異性との交際経験	9
4. 婚活の実態	10
■ 未婚男女の婚活経験	10
5. 結婚生活に必要な収入に関する意識	11
■ 結婚生活に必要なと思う世帯年収と未婚女性が結婚相手に求める年収	11
6. 結婚の価値をお金に例えると?	13
■ 結婚をコストパフォーマンスで考えたことがあるか	13
■ 結婚の価値を損得で考えるといくらになる?	13
7. 結婚したい理由・結婚相手の条件	15
■ 結婚したいと思う理由	15
■ 結婚相手として重視したい条件	16
8. 未婚者の年収と恋愛・結婚観の関係	17
■ 20・30代未婚者の年収と恋愛・結婚に対する意識の関係	17
9. 20・30代未婚者の行動様式の変化と独身の理由	18
■ 20・30代未婚者のタイプ・行動様式の変化	18
■ 20・30代が独身でいる理由	18
10. 婚活内容・婚活への親の関与	20
■ 婚活の内容	20
■ 婚活の効果	21
■ 婚活に対する親の関与は?	21
■ 親が婚活に関わることをどう思っている?	22
11. 結婚生活に関する意識と実態	23
■ 結婚生活に対する満足度	23
■ 世帯年収別の生活満足度	23
■ 結婚に関するさまざまな意識	25
12. 配偶者に望むこと	26
■ 配偶者に望むことは	26
13. 離婚に関する意識	27
■ 離婚を意識したことがあるか	27

1. 20・30代が考える理想の結婚相手

理想の結婚相手 有名人では？

女性のトップは 上戸彩さん 男性のトップは つるの剛士さん

■ 理想の結婚相手を有名人に例えると

➤ 20・30代回答者の総合ランキング トップは、上戸彩さん、つるの剛士さん

- ・ 理想の結婚相手を有名人に例えると誰か訊ねてみました（図表1）。
- ・ 理想の結婚相手は、女性では上戸彩さん、綾瀬はるかさん、新垣結衣さん、北川景子さん、有村架純さんがトップ5、男性ではつるの剛士さん、佐々木健介さん、藤本敏史（FUJIWARA）さん、唐沢寿明さん、杉浦太陽さんがトップ5です。

➤ 20代では、桐谷美鈴さん、里田まいさん、DAIGOさん、30代では山口智子さん、石原さとみさん、松嶋菜々子さん、所ジョージさん、谷原章介さんもトップ5に

- ・ 回答者の年代別に見ると、総合ランキングトップの上戸彩さん、つるの剛士さんは、20・30代いずれの年代でも上位の支持を得ています。

図表1 理想の結婚相手を有名人に例えると（20・30代未婚・既婚の男女）

総合ランキング

理想の妻（男性回答）

n=520

順位	有名人	得票数
1	上戸彩	22
2	綾瀬はるか	20
3	新垣結衣	18
4	北川景子	16
5	有村架純	13
6	石原さとみ	12
7	里田まい	10
	山口智子	
	松嶋菜々子	
10	堀北真希	9

（敬称略）

理想の夫（女性回答）

n=739

順位	有名人	得票数
1	つるの剛士	44
2	佐々木健介	35
3	藤本敏史（FUJIWARA）	25
4	唐沢寿明	22
5	杉浦太陽	21
6	谷原章介	17
7	所ジョージ	16
8	向井理	15
9	玉木宏	14
10	堺雅人	13

（敬称略）

【20代】

理想の妻(男性回答)

n=228

順位	有名人	得票数
1	上戸彩	12
2	新垣結衣	11
3	有村架純	9
4	綾瀬はるか	8
5	桐谷美玲	6
	北川景子	
	里田まい	
8	石原さとみ	5
9	北斗晶	4
	堀北真希	

(敬称略)

理想の夫(女性回答)

n=347

順位	有名人	得票数
1	つるの剛士	25
2	藤本敏史(FUJIWARA)	21
3	佐々木 健介	14
4	杉浦太陽	12
5	DAIGO	9
6	玉木宏	8
7	堺雅人	7
8	関根勤、向井理、小栗旬、 唐沢寿明、谷原章介	5

(敬称略)

【30代】

理想の妻(男性回答)

n=292

順位	有名人	得票数
1	綾瀬はるか	12
2	上戸彩	10
	北川景子	
4	山口智子	9
5	新垣結衣	7
	石原さとみ	
	松嶋菜々子	
8	乙葉	6
	山口百恵	
	仲間由紀恵	

(敬称略)

理想の夫(女性回答)

n=392

順位	有名人	得票数
1	佐々木健介	21
2	つるの剛士	19
3	唐沢寿明	17
4	所ジョージ	12
	谷原章介	
6	向井 理	10
7	杉浦太陽	9
8	井ノ原快彦	7
	福山雅治	
10	関根勤、玉木宏、小栗旬、 堺雅人、江口洋介	6

(敬称略)

2. 結婚に対する考え方

結婚願望は、2013 年度調査と比べて大幅ダウン

20 代男性は、67.1%から 38.7%に

20 代女性は、82.2%から 59.0%に

■ 結婚に対する意向

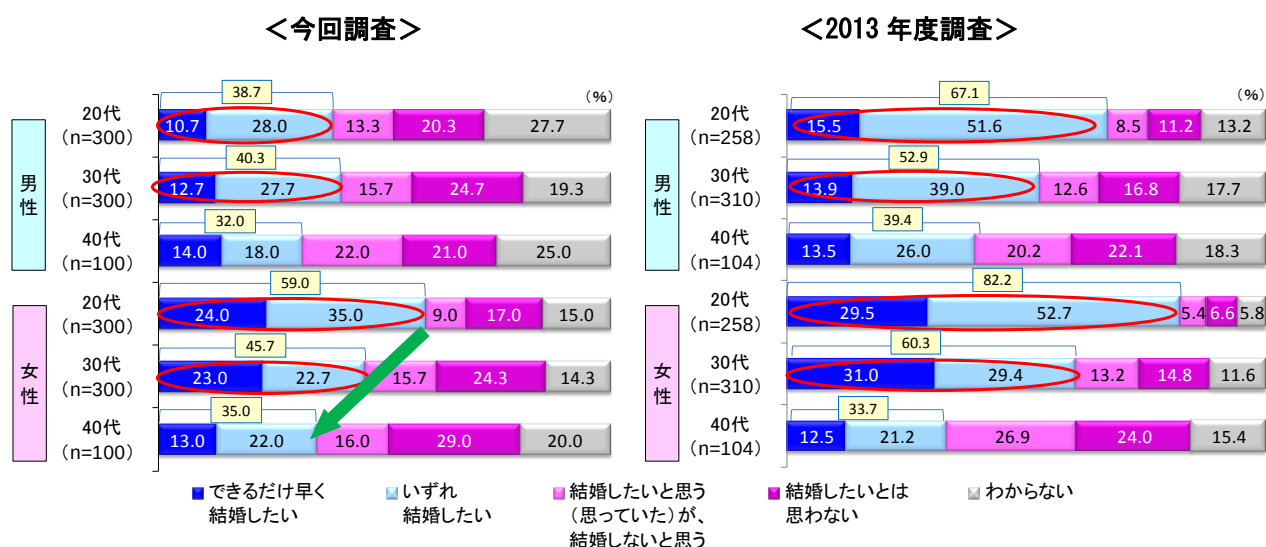
➤ 「結婚したい」と考える 20・30 代が大幅に減少！ さらなる少子化の進展が懸念

- ・ 20～40 代の未婚の男女に結婚に対する気持ちを訊ねたところ、結婚願望がある人（「できるだけ早く結婚したい」＋「いずれ結婚したい」）は、20 代では男性が 38.7%で 3 年前の 2013 年度調査の 67.1%から 28.4 ポイント低下、20 代の女性は 59.0%で 2013 年度調査の 82.2%から 23.2 ポイント低下しました。
- ・ 30 代男性は 40.3%で 52.9%から 12.6 ポイント低下、30 代女性は 45.7%で 60.3%から 14.6 ポイント低下と、男女とも 10 ポイント以上低下しています。
- ・ 40 代では、男性が 32.0%で 39.4%から 7.4 ポイント低下、女性は 35.0%で 33.7%から 1.3 ポイント上昇しています（図表 2）。
- ・ 20・30 代で「いずれ結婚したい」と考えている人が大幅に減少する一方、「結婚したいとは思わない」人が増加しています。「結婚することが当然」と考えなくなっている若者の意識がうかがえます。結婚願望の大幅な低下による、結婚の減少および少子化の進展の加速が懸念されます。

➤ 年齢とともに「結婚したい」割合は低下

年齢が上がるにつれ結婚したいという割合は低下傾向で、特に女性ではその傾向が強く表れています。30・40 代の未婚女性の中には、キャリアアップを目指したり、「おひとりさま」スタイルを志向する人が多くなってきていることも理由と考えられます（図表 2）。

図表 2 結婚に対する意向（20～40 代未婚の男女）



3. 交際の実態

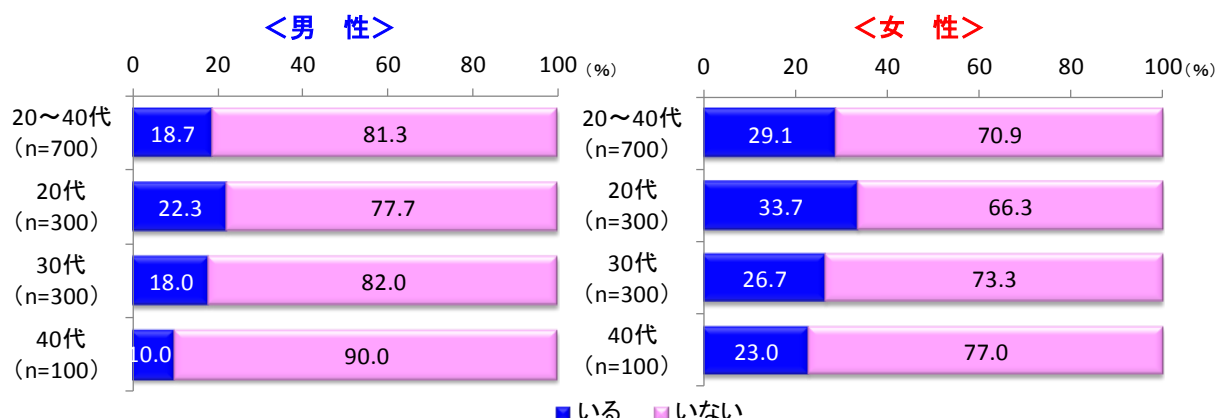
20代で恋人がいる人は、2008年度調査と比べて大幅に低下
男性は、45.8%から22.3%(5人に1人)に
女性は、47.9%から33.7%(3人に1人)に
交際経験がない20代未婚男性は53%(2人に1人)で、3年前の1.7倍に

■ 交際相手の有無

➤ 恋人がいる20代 男性22.3%・女性33.7%

- ・ 未婚の男女に「現在の交際相手の有無」について訊ねたところ、恋人がいる人は20代男性では22.3%で5人に1人でした。20代女性は33.7%で3人に1人です。
- ・ 女性は全年代で男性より高くなっており、女性のほうが積極的であることがうかがえます(図表3-1)。

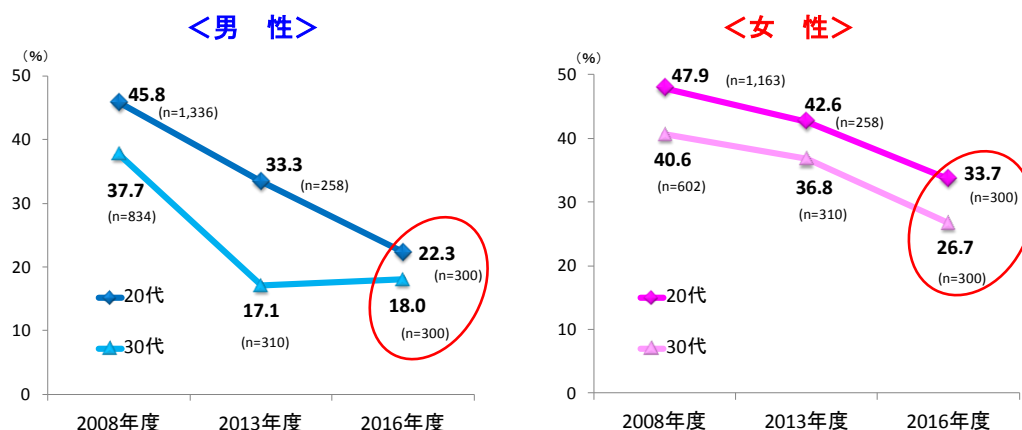
図表3-1 交際相手がいる割合(20~40代未婚の男女)



➤ 恋人がいる人の割合は低下傾向 — 特に男性は8年前から半減

- ・ 恋人がいる人の割合を2008年度調査・2013年度調査と比較すると、大きく低下しています。
- ・ 男性は、20代が2008年の45.8%から22.3%に、30代も37.7%から18.0%へと、いずれも半減しています。
- ・ 女性は、20代が47.9%から33.7%に、30代も40.6%から26.7%に、いずれも14ポイント程度低下しています(図表3-2)。

図表3-2 交際相手がいる人の割合(20・30代未婚の男女)

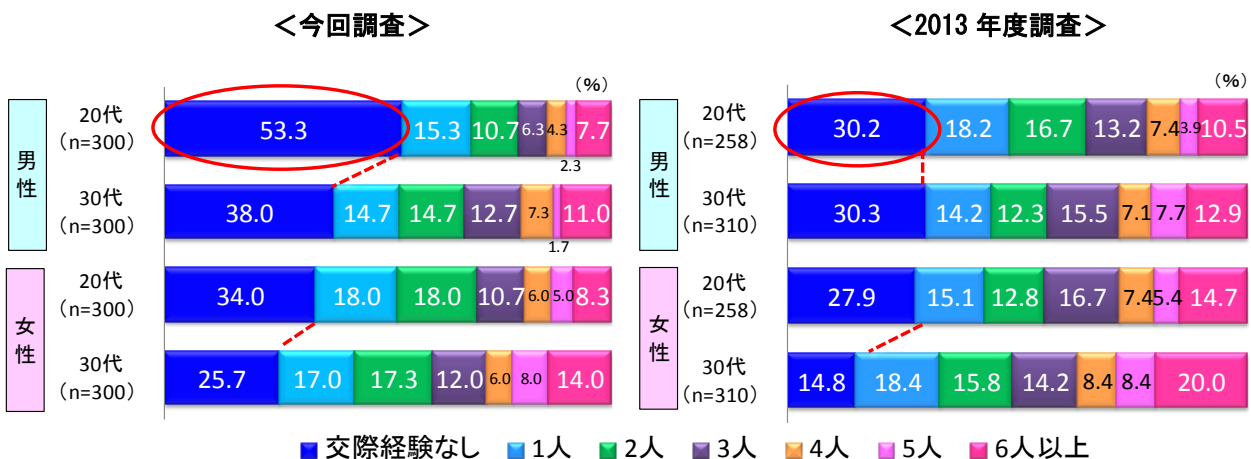


■ 異性との交際経験

➤ 20代未婚男性の2人に1人が交際経験なし — 3年前との比較では1.7倍に

- ・ 20・30代の未婚の男女に交際経験を訊ねたところ、男性20代の53.3%・30代の38.0%は交際経験がありませんでした。女性の交際未経験者は、20代で34.0%・30代で25.7%であり、女性のほうが交際経験は豊富なようです。
- ・ 3年前の2013年度調査との比較では、20・30代の男女とも交際経験がない人の割合が増加しており、特に20代男性は30.2%から53.3%と23.1ポイント上昇、1.7倍にもなっています（図表3-3）。

図表 3-3 異性との交際経験（20・30代未婚の男女）



- ・ 前述（P7）した「結婚したい未婚男女の割合が低下」していることと関連して、恋愛にも消極的になってきています。あるいは、恋愛に消極的なために結婚につながらないことも想定されます。恋人がいる人の割合が低下していることで、“結婚しない予備群”の増加が懸念されます。

4. 婚活の実態

20～40 代未婚男女の婚活経験者は減少傾向

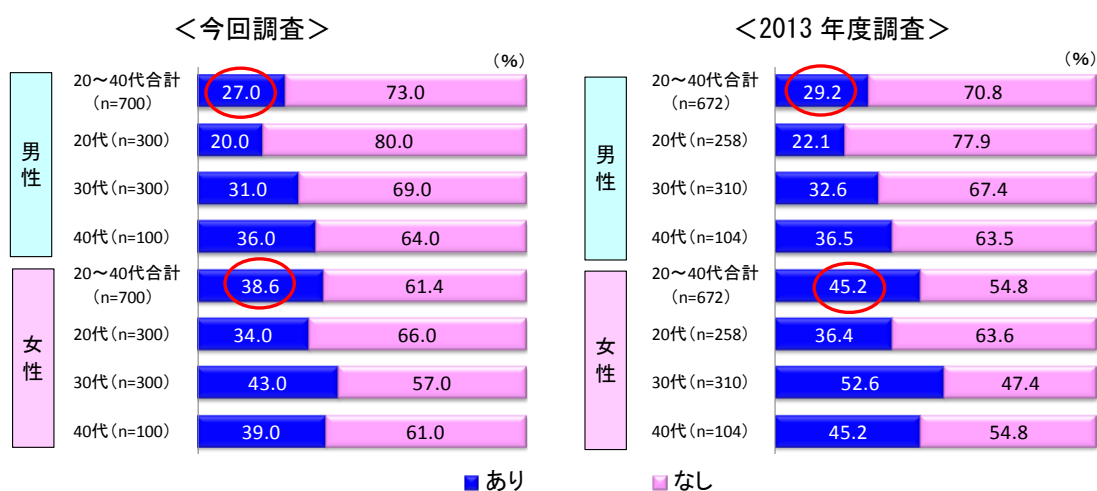
婚活をしない理由 「結婚に興味がないから」が大幅に増加

■ 未婚男女の婚活経験

➤ 20～40 代の未婚者では、どの年代も女性が婚活に積極的

- ・ 20～40 代の未婚の男女に婚活経験の有無を訊ねたところ、男性の 27.0%に対し女性が 38.6%と 11.6 ポイント高く、またすべての年代で女性のほうが婚活に積極的です。2013 年度調査でも同様に女性のほうが積極的でしたが、3 年前より男女ともいずれの年代でも婚活経験が低下している点が注目されます（図表 4-1）。
- ・ 結婚願望の低下が、婚活行動にも表れているようです。
- ・ 「婚活をしない理由」（複数回答）として、「結婚に興味がないから」を挙げている人が、2013 年度調査では男性が 38.2%・女性が 31.3%でしたが、今回調査ではそれぞれ 54.8%・50.9%に増加しています（図表 4-2）。

図表 4-1 婚活経験がある人の割合（20～40 代未婚の男女）



図表 4-2 婚活をしない理由として「結婚に興味がないから」を挙げた割合（20～40 代未婚の男女）

	2013 年度調査	今回調査
20～40 代男性	38.2%	54.8%
20～40 代女性	31.3%	50.9%

5. 結婚生活に必要な収入に関する意識

**女性の半数以上が、結婚相手に 400 万円以上の年収を希望
男性の実際の年収とは大きなギャップ！**

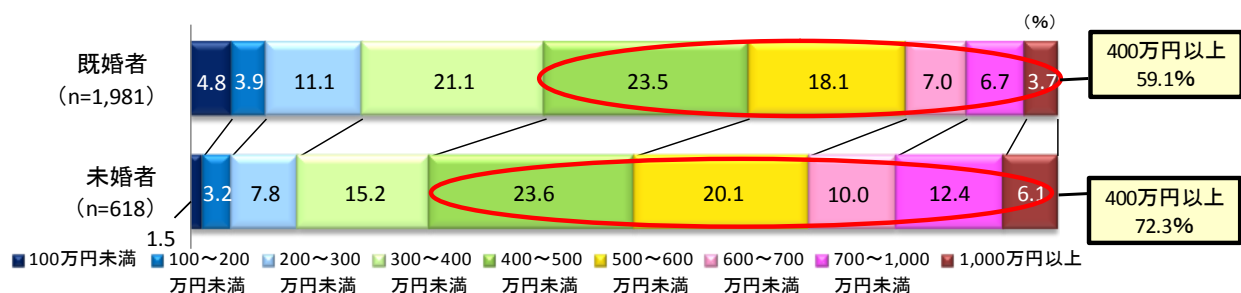
■ 結婚生活に必要なと思う世帯年収と未婚女性が結婚相手に求める年収

➤ 結婚生活に最低必要だと思う世帯年収は、既婚者と未婚者で差

- 「結婚生活を送るために最低必要だと思う世帯年収」を既婚者と未婚者で比較してみると、400 万円以上との回答が、既婚者は 59.1%であるのに対し、未婚者は 72.3%と 13.2 ポイント上回っています（図表 5-1）。

未婚者は、結婚生活の経験がないため、安全を見込む人も多いでしょうし、ある程度ゆとりを持った生活をしたい期待感もあるものと思われます。一方、既婚者の実感としては、未婚者が思っているほど世帯年収が必要とは思っていない実態であることが分かります。

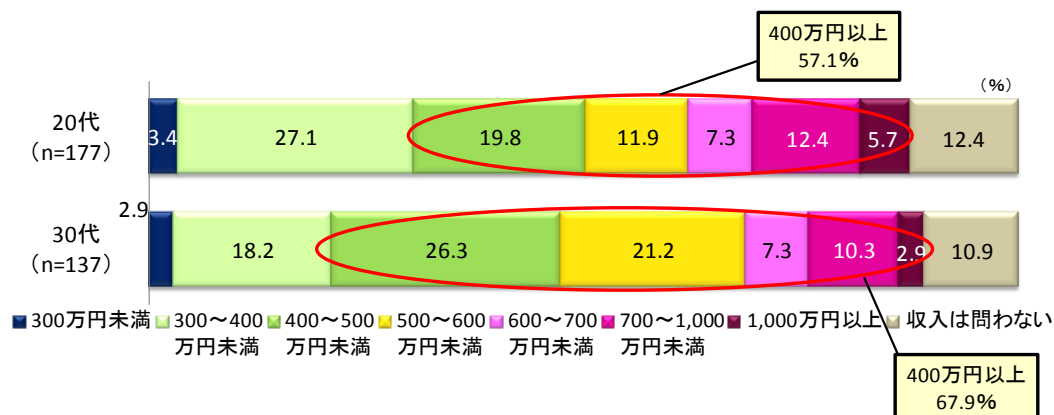
図表 5-1 結婚生活を送るために最低必要だと思う世帯年収（20～40 代男女、未婚・既婚別）



➤ 20・30 代未婚女性の半数以上が、結婚相手に 400 万円以上の年収を希望

- 未婚の女性が結婚相手に求める最低年収は、半数以上が 400 万円以上で、20 代 57.1%・30 代は 67.9%です（図表 5-2）。

図表 5-2 20・30 代未婚女性が結婚相手に希望する最低年収

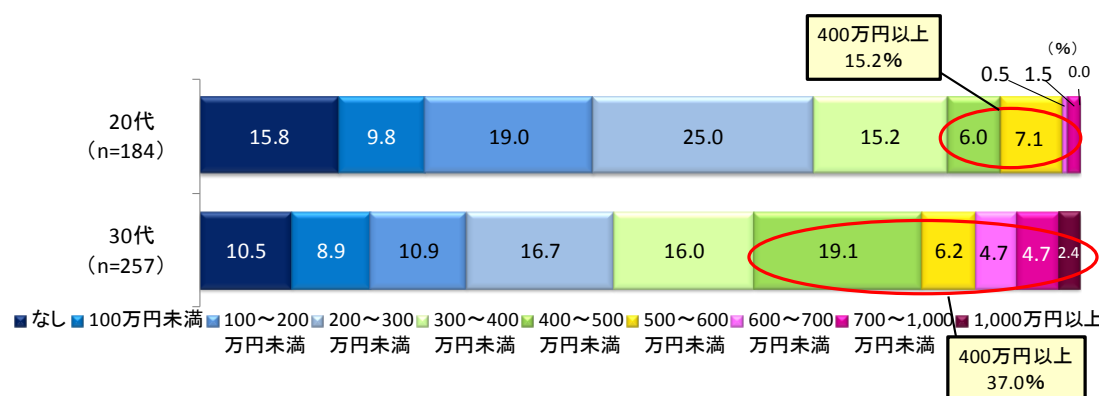


➤ 女性の希望に応えにくい未婚男性の年収の現状…

- 一方、20・30 代の未婚の男性（学生を除く）で年収 400 万円以上の人は、20 代男性ではわ

ずか 15.2%、30 代男性も 37.0%にとどまり、女性が希望する年収とは大きなギャップが見られ（図表 5-3）、このギャップが未婚・晩婚化の一因と考えられます。

図表 5-3 20・30 代未婚男性の年収の分布



6. 結婚の価値をお金に例えると？

結婚をコスパで考える時代？

30代未婚の男女の半数近くが結婚をコストパフォーマンスで考えたことがある

結婚を金銭評価すると、

既婚者はプラス評価が多いものの、30代未婚男性ではマイナス評価

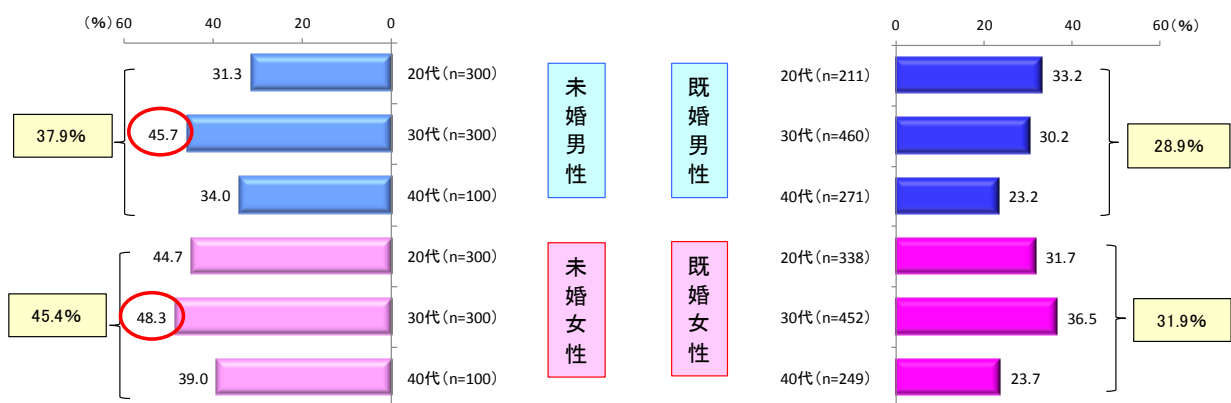
■ 結婚をコストパフォーマンスで考えたことがあるか

➤ 未婚の男性の 37.9%・女性の 45.4%が「結婚をコストパフォーマンスで考えたことがある」

- ・「結婚をコストパフォーマンスで考えたことがあるか」を訊ねたところ、考えたことがある人は、20～40代の未婚の男性で 37.9%・女性で 45.4%にも上りました。

既婚の男性が 28.9%・女性が 31.9%ですから、未婚者のほうが男性で 9.0 ポイント、女性で 13.5 ポイント上回っています。特に 30 代の未婚の男性が 45.7%・女性が 48.3%と相対的に高くなっています（図表 6-1）。

図表 6-1 結婚をコストパフォーマンスで考えたことがある割合（20～40 代男女、未婚・既婚別）



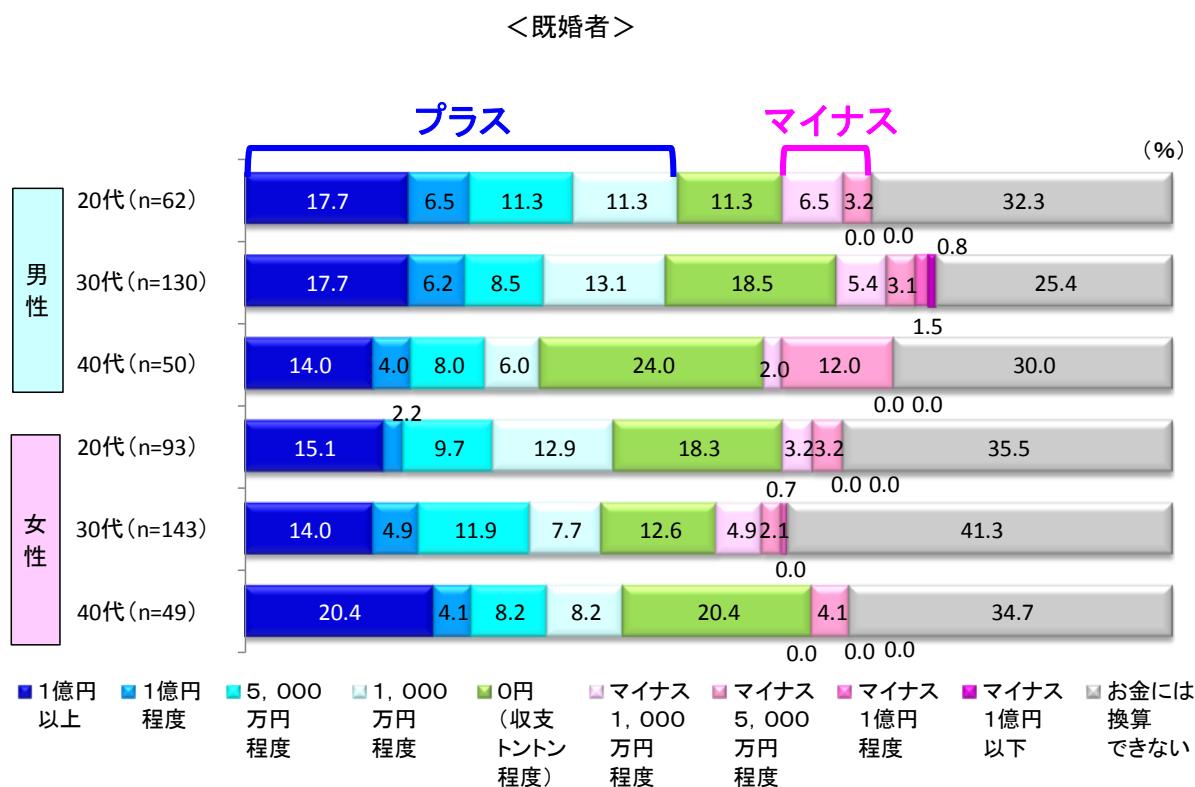
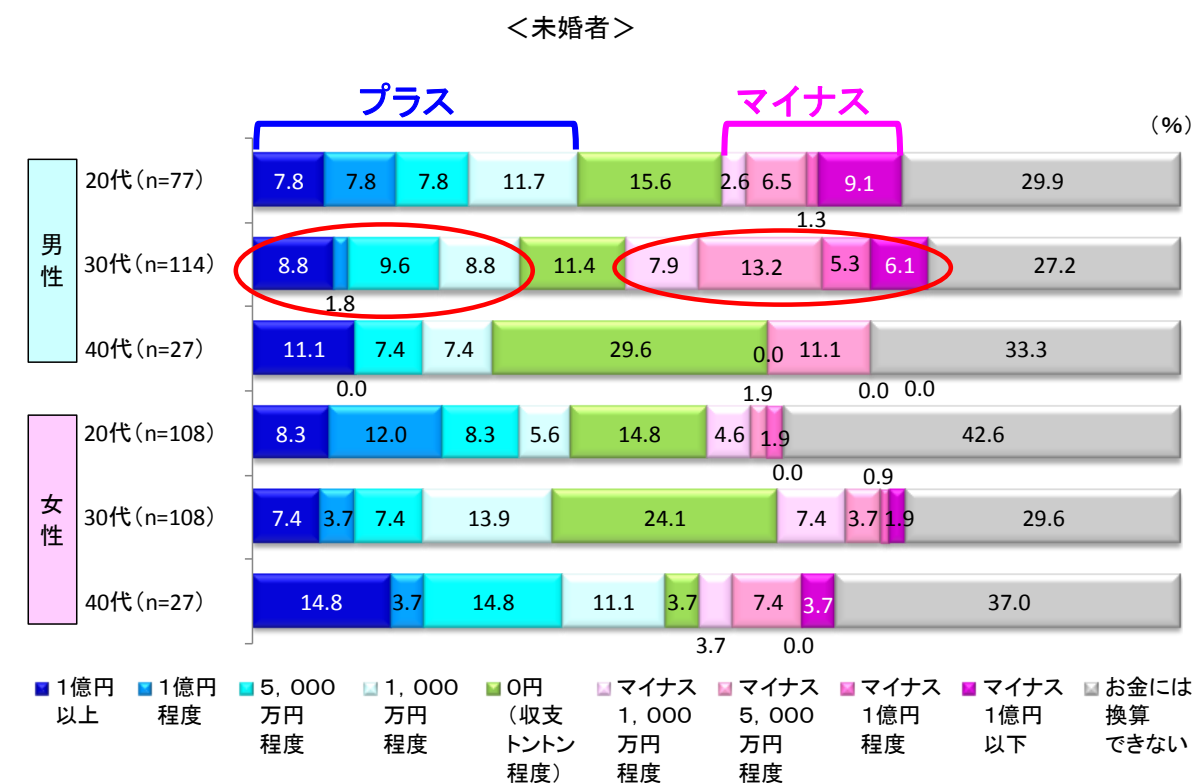
■ 結婚の価値を損得で考えるといくらになる？

➤ 未婚者より既婚者のほうが、結婚の価値をお金に換算するとプラスと考える傾向

- ・結婚をコストパフォーマンスで考えたことがある人に「結婚をお金の価値で換算するといくらになるか」と訊ねたところ、「プラス」と考えるのは未婚者より既婚者のほうが多く、「マイナス」と考えるのは未婚者のほうが既婚者より多くなっています。
- ・既婚者は、結婚生活を送る中で結婚を前向きに受け止め「プラス」と評価しており、「1億円以上・1億円程度プラス」とした人も男女ともに 20%前後います。
また、女性は、男性よりも「お金に換算できない」と考える人が多いようです。
- ・未婚者は、女性は「プラス」が「マイナス」を大きく上回っているのに対し、男性は 30 代で「マイナス」が 32.5%で「プラス」の 29.0%を上回るなど、性別により評価が分かれています（図表 6-2）。

後述（P18）する 20・30 代の未婚の男女が「独身でいる理由」において、「経済的に自由がきく」を男性が 16.2%と女性の 7.8%より高く選択していることとも関連がありそうです。

図表 6-2 結婚をお金の価値に換算するといくらになるか（20～40 代男女、未婚・既婚別）



7. 結婚したい理由・結婚相手の条件

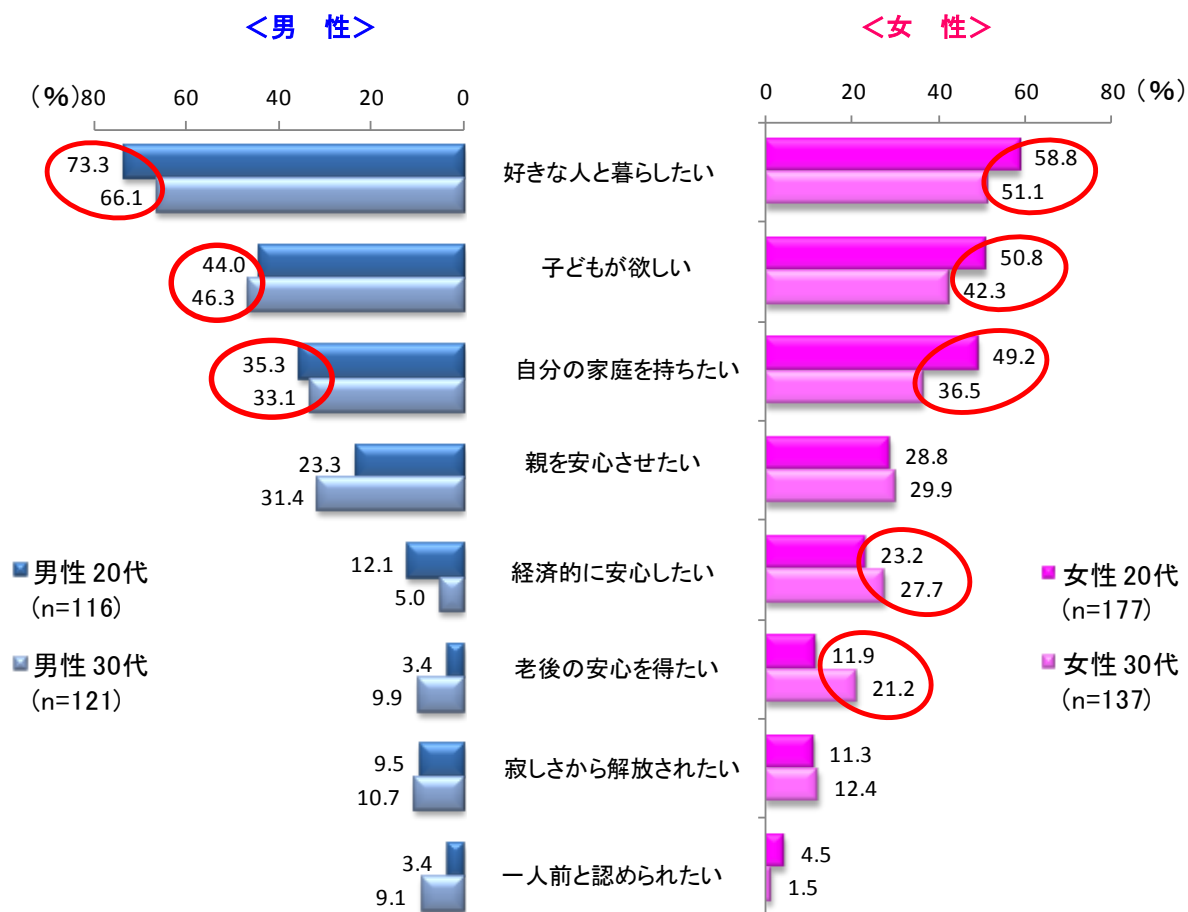
結婚したい理由 — 「好きな人と暮らしたい」・「家庭・子どもを持ちたい」
結婚相手の条件 — 「価値観が合う」・「優しさ」・「健康」・「浮気をしない」

■ 結婚したいと思う理由

➤ 「好きな人と暮らしたい」・「子どもが欲しい」・「自分の家庭を持ちたい」が上位

- ・ 結婚願望のある人（「できるだけ早く結婚したい」＋「いずれ結婚したい」）に結婚したい理由（複数回答）を訊ねたところ、20・30代では男女とも「好きな人と暮らしたい」・「子どもが欲しい」・「自分の家庭を持ちたい」が上位でした。
- ・ 女性は、男性よりも「経済的に安定したい」・「老後の安心を得たい」を挙げる割合が高く、老後や経済的な安定を志向する様子が見え（図表 7-1）。

図表 7-1 結婚したいと思う理由（結婚したいと考えている 20・30 代未婚の男女：複数回答）

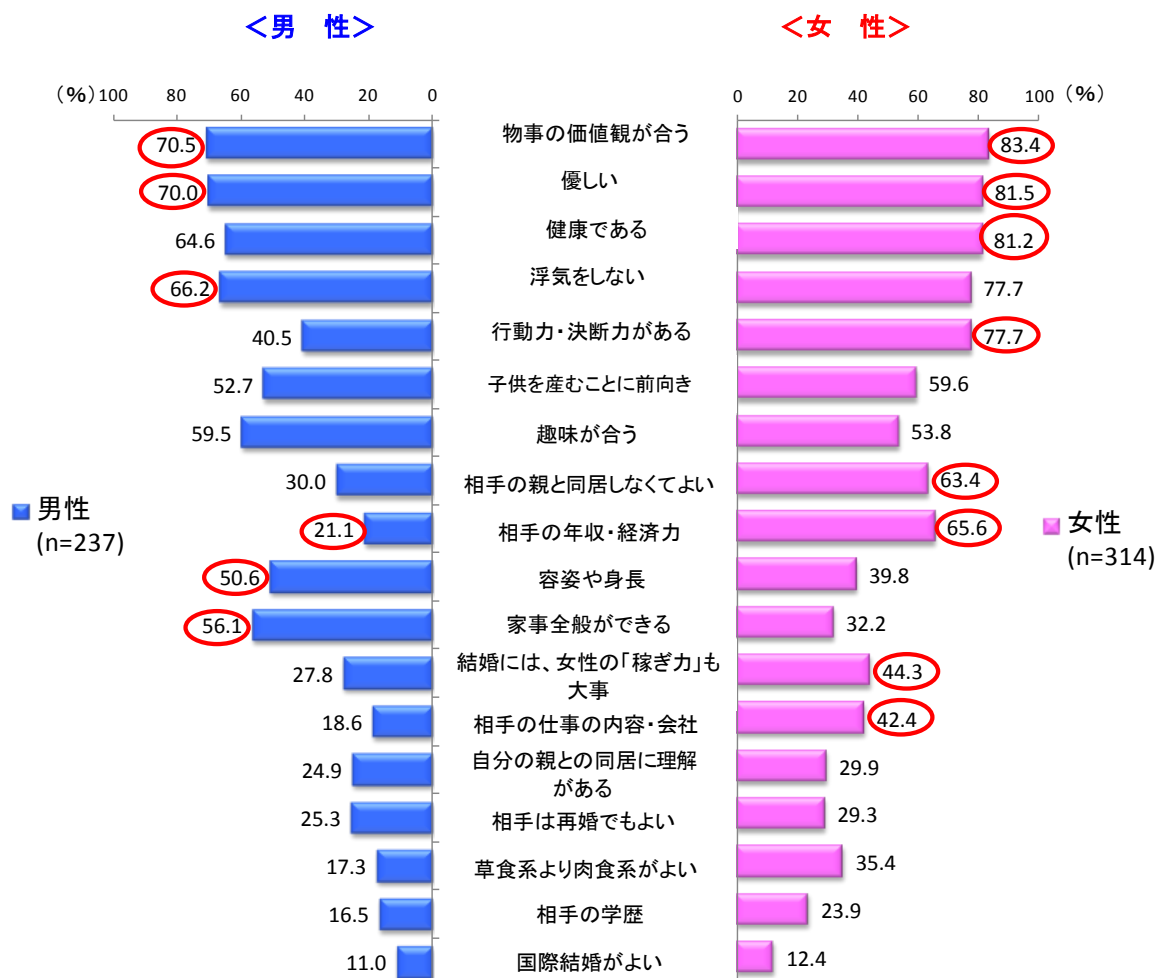


■ 結婚相手として重視したい条件

➤ 男女ともに「価値観が合う」・「優しさ」・「健康」・「浮気をしない」が上位で、女性は男性より「行動力・決断力」・「年収・経済力」・「親との別居」を重視

- ・ 20・30代の未婚の男女に結婚相手に希望する条件について訊ねました。
- ・ 18項目の条件の中で重視したい（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）条件は、男女ともに「物事の価値観が合う」・「優しい」・「健康」・「浮気をしない」などが上位でした。
- ・ 女性は、男性と比べて「行動力・決断力」・「相手の年収・経済力」・「相手の親と同居しなくてよい」・「相手の仕事の内容・会社」が高く、男性は「家事全般ができる」・「容姿や身長」が女性より高くなっています。
- ・ 女性の44.3%が「結婚には女性の稼ぎ力も大事」を挙げており、男性の27.8%より16.5ポイント高く、男性の経済力だけを頼りにしない意識も強いようです。また、「相手の年収・経済力」を重視したい男性は21.1%で、3年前の2013年度調査の18.4%に比べて増加していることから、男女ともに“女性の稼ぎ力が重要”と認識する傾向が強まっているものと考えられます（図表7-2）。

図表 7-2 結婚相手として重視したい条件（20・30代未婚の男女）



8. 未婚者の年収と恋愛・結婚観の関係

30代未婚男性の交際経験

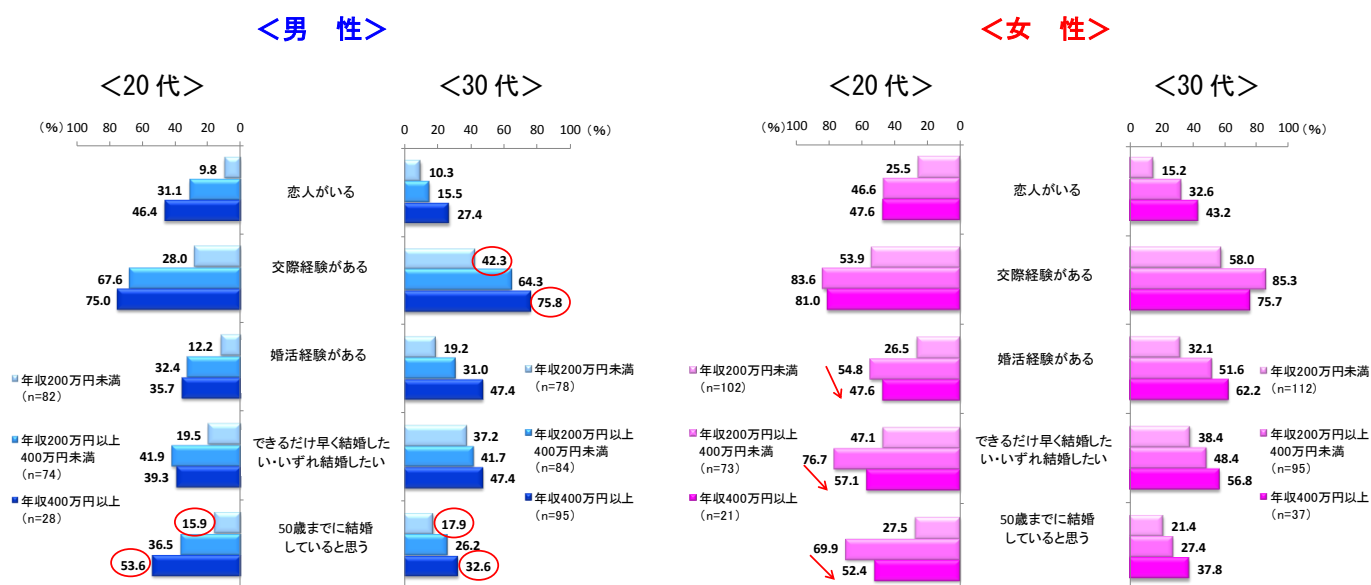
年収 200 万円未満では 42.3%、年収 400 万円以上では 75.8%

■ 20・30代未婚者の年収と恋愛・結婚に対する意識の関係

➤ 年収が高いほど恋愛や結婚に前向き。特に男性は年収が大きく影響！

- ・ 20・30代の未婚の男女（学生を除く）について、恋愛・結婚の意識や実態と年収との関係を見てみました。
- ・ 男性は、20・30代ともに年収が高いほど「恋人がいる」や「交際・婚活経験がある」の割合が高く、結婚願望も強い傾向が見られます。「年収 200 万円未満」の 30 代男性の交際経験が 42.3%に対し、「年収 400 万円以上」層では 75.8%と 30 ポイント以上上回っています。
- ・ 「50 歳までに結婚していると思う」割合は、「年収 400 万円以上」の 20 代が 53.6%で 2 人に 1 人・30 代では 32.6%で 3 人に 1 人なのに対し、「年収 200 万円未満」の 20 代はわずか 15.9%・30 代も 17.9%です。6 人に 5 人が生涯未婚の可能性があるとされていることが注目されます。
- ・ 女性は、総じて男性よりも積極的で、また、男性と同じく年収が高いほど積極的な傾向が見られますが、「年収 200 万円以上 400 万円未満」と「400 万円以上」の層では大きな違いは見られません。むしろ、20 代の「年収 400 万円以上」の層は、「年収 200 万円以上 400 万円」の層よりも交際・婚活経験や結婚願望が低い傾向も見られます。キャリア志向の女性も多いためと考えられます（図表 8）。
- ・ 一定程度の年収がないと恋愛・結婚に前向きになりにくい傾向が見られ、特に男性は年収が恋愛・結婚の意識や行動に大きく影響している実態がうかがえます。

図表 8 20・30代未婚男女の恋愛・結婚に関する意識・実態（年収階級別）



9. 20・30代未婚者の行動様式の変化と独身の理由

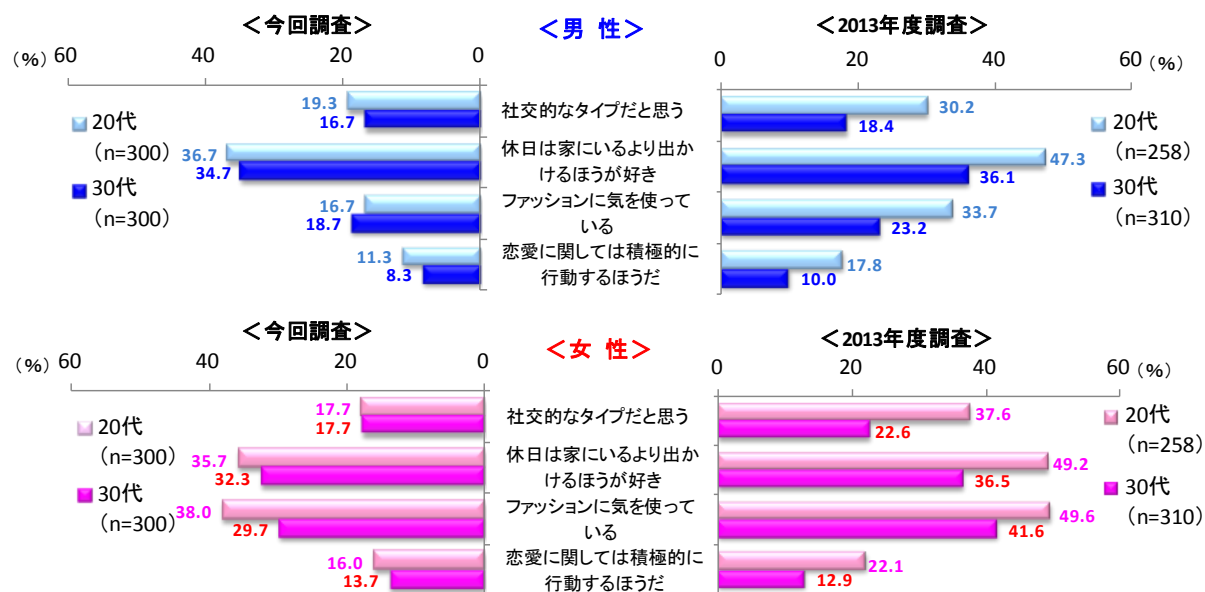
20・30代未婚の男女 — インドア派が増加し社会的でなくなっている！？
 ファッションにあまり気を使わず、恋愛にも消極的に
 独身でいる理由 — 男性「収入が少ない」 女性「結婚したいと思える相手がいない」

■ 20・30代未婚者のタイプ・行動様式の変化

➤ 20・30代の性格や行動の変化が恋愛に対する意識と連動！？

- ・ 20・30代の未婚の男女に性格・タイプの自己分析をしてもらった結果を3年前の2013年度調査と比較すると、タイプや行動様式に変化が見られます。
- ・ 20・30代の男女ともに「社交的なタイプだと思う」・「休日は家にいるより出かけるほうが好き」・「ファッションに気を使っている」のいずれの項目も、3年前より低下しています。また、「恋愛に関しては積極的に行動するほうだ」の項目も30代女性を除いて低下傾向です（図表9-1）。
- ・ 社交的なアウトドア派の20・30代が減少し、ファッションにもあまり気を使わず、恋愛に対しても消極的な若者が増えている実態から、交際経験が低下していることと連動していることがうかがえます。

図表9-1 20・30代未婚男女のタイプ・行動様式



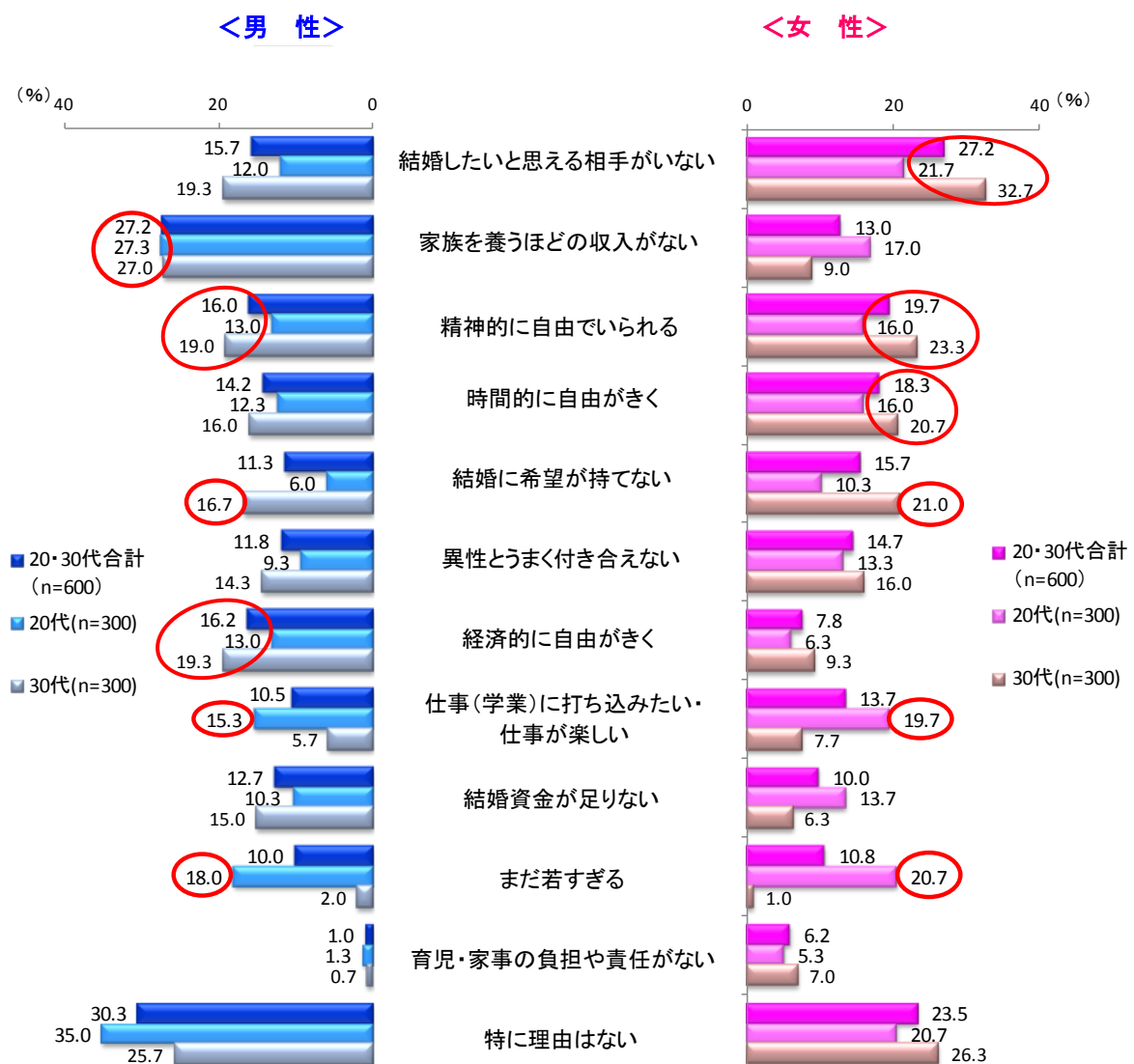
■ 20・30代が独身でいる理由

➤ 一番の理由は、男性「家族を養うほどの収入がない」、女性「結婚したいと思える相手がいない」

- ・ 20・30代の未婚者が独身でいる理由（複数回答）は、男性では「家族を養うほどの収入がない」が27.2%でトップ。4人に1人が、収入が理由で結婚に踏み切れない状況です。以下、「経済的に自由がきく」・「精神的に自由でいられる」など、独身の自由さを求める項目が続きます。

- ・ 女性では、「結婚したいと思える相手がいない」が27.2%でトップ、特に30代女性では32.7%で3人に1人が挙げています。以下、「精神的に自由でいられる」・「時間的に自由がきく」と、女性も独身の自由さを求める項目が続きます。
- ・ 20代では、「まだ若すぎる」・「仕事（学業）に打ち込みたい・仕事が楽しい」が上位に入っていますが、30代になると、男女ともに「精神的に自由でいられる」・「時間的に自由がきく」・「経済的に自由がきく」などが高くなり、“束縛されず、自由でいられる”ことが独身でいる理由となっているようです。
- ・ 30代では結婚の現実的な部分も見えてくるのか、「結婚に希望が持てない」を挙げた人が20代より大幅に増え、男性は16.7%で6人に1人、女性は21.0%で5人に1人となっています（図表9-2）。

図表 9-2 独身でいる理由（20・30代未婚の男女：複数回答）



10. 婚活内容・婚活への親の関与

20～40 代の 4 割が婚活の効果を実感

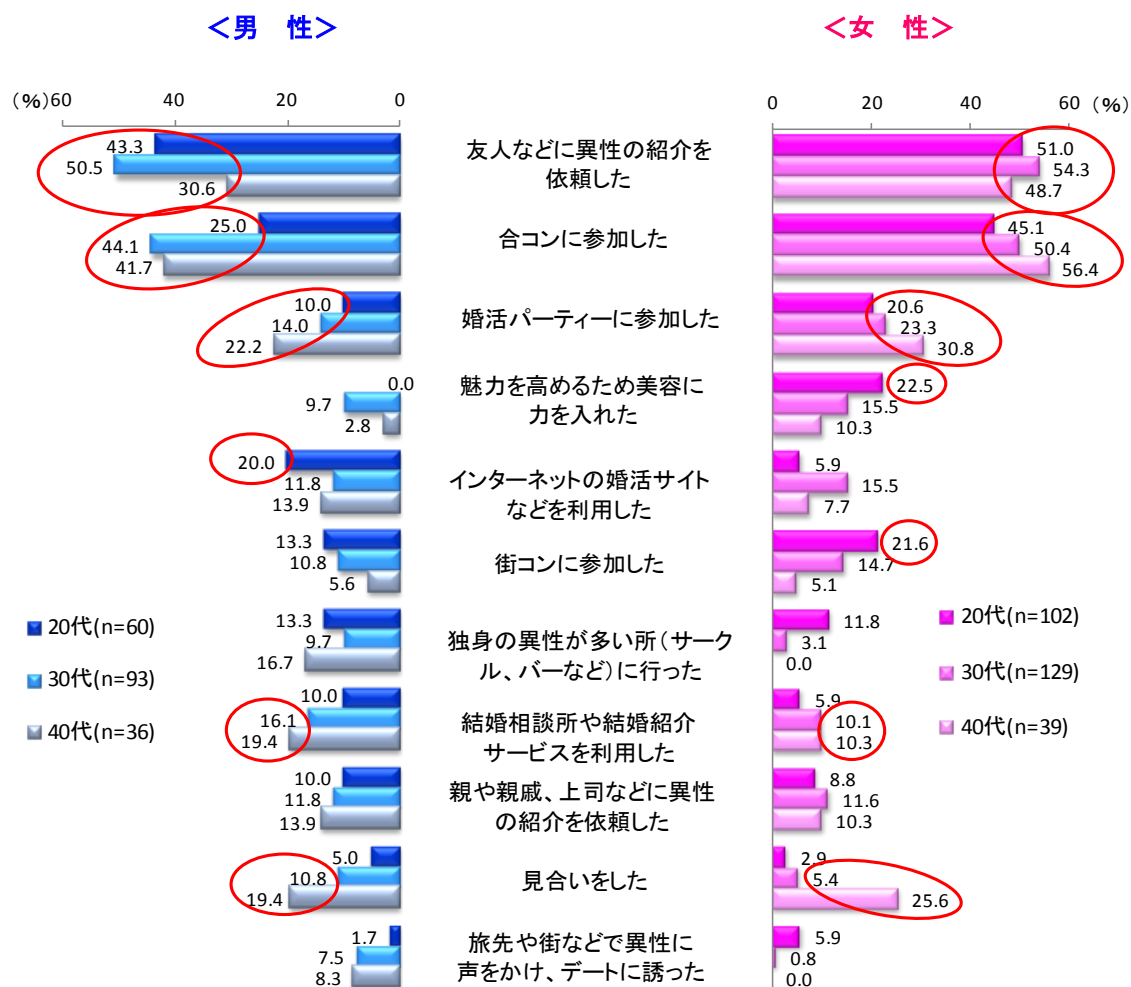
親が婚活に関わっている世帯の子どもの 6 割以上が「助かった」

■ 婚活の内容

➤ 「友人などに異性の紹介を依頼」・「合コンに参加」・「婚活パーティーに参加」が上位

- ・ 婚活の内容（複数回答）としては、「友人などに異性の紹介を依頼した」・「合コンに参加した」・「婚活パーティーに参加した」が上位を占めています。
- ・ 女性は 20 代から「友人への紹介依頼」・「合コン」に加え、「婚活パーティー」・「街コン」・「魅力を高めるために美容に力を入れた」などにも積極的ですが、20 代男性は「友人への紹介依頼」・「合コン」に加え「インターネットの婚活サイト」が中心であり、30 代になってようやく婚活に本腰を入れている様子がうかがえます。
- ・ 男女とも 30・40 代になると「結婚相談所や結婚紹介サービスの利用」や「見合い」も増えています（図表 10-1）。

図表 10-1 婚活内容（20～40 代未婚の男女：複数回答）

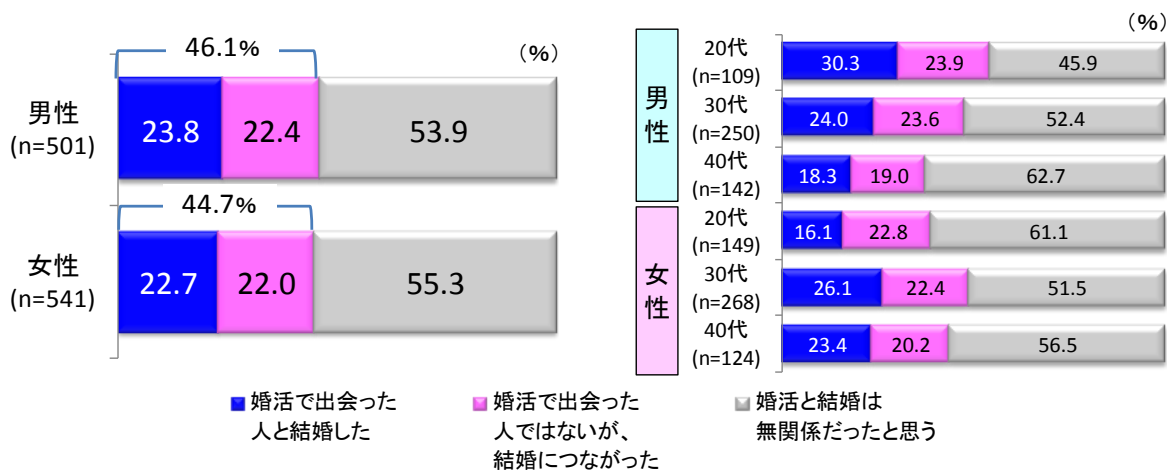


■ 婚活の効果

➤ 20～40 代の 4 割が婚活の効果を実感

- 20～40 代の婚活経験がある既婚者では、男性の 23.8%・女性の 22.7%が「婚活で出会った人と結婚」しています。「婚活で出会った人ではないが、結婚につながった」の 22.4%・22.0%を合わせると、男性の 46.1%・女性の 44.7%が“婚活による成果”と言えるようです（図表 10-2）。

図表 10-2 婚活の効果（20～40 代既婚の男女）

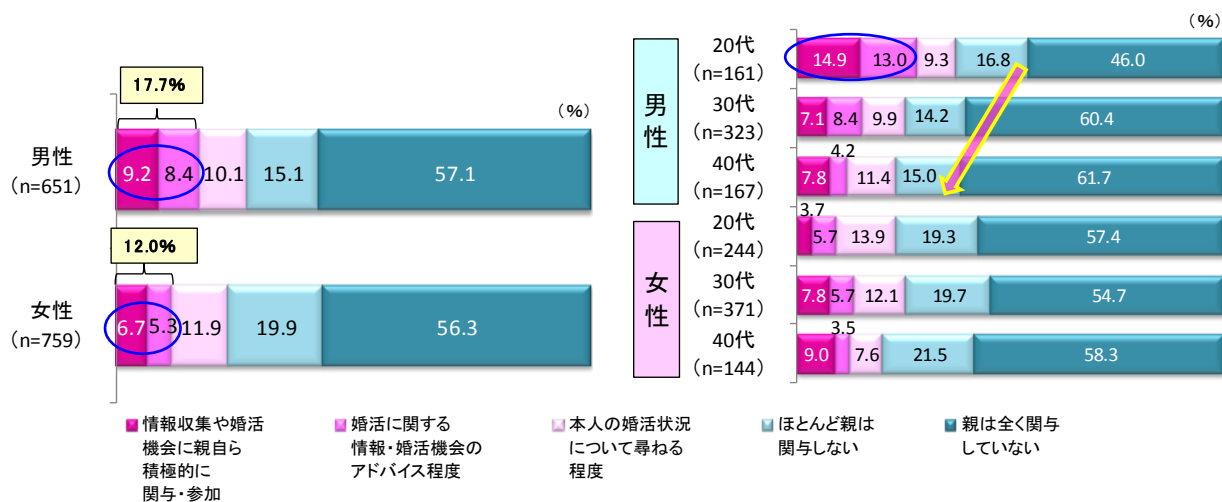


■ 婚活に対する親の関与は？

➤ 20 代男性の 4 人に 1 人の婚活に親が関わっている

- 20～40 代の未婚・既婚者の婚活に対する親の関わり方について見てみました。
- 親が関与（「情報収集や婚活機会に親自ら積極的に関与・参加」＋「婚活に関する情報・婚活機会のアドバイス程度」）している（した）割合は、男性の 17.7%・女性の 12.0%と、男性の婚活に親が関与するケースが多いようです。男性では若年層ほど婚活への親の関わり度合いが高く、20 代の男性では 27.9%で 4 人に 1 人の婚活に親が関与しています（図表 10-3）。

図表 10-3 婚活への親の関わり方（20～40 代の未婚・既婚の男女）

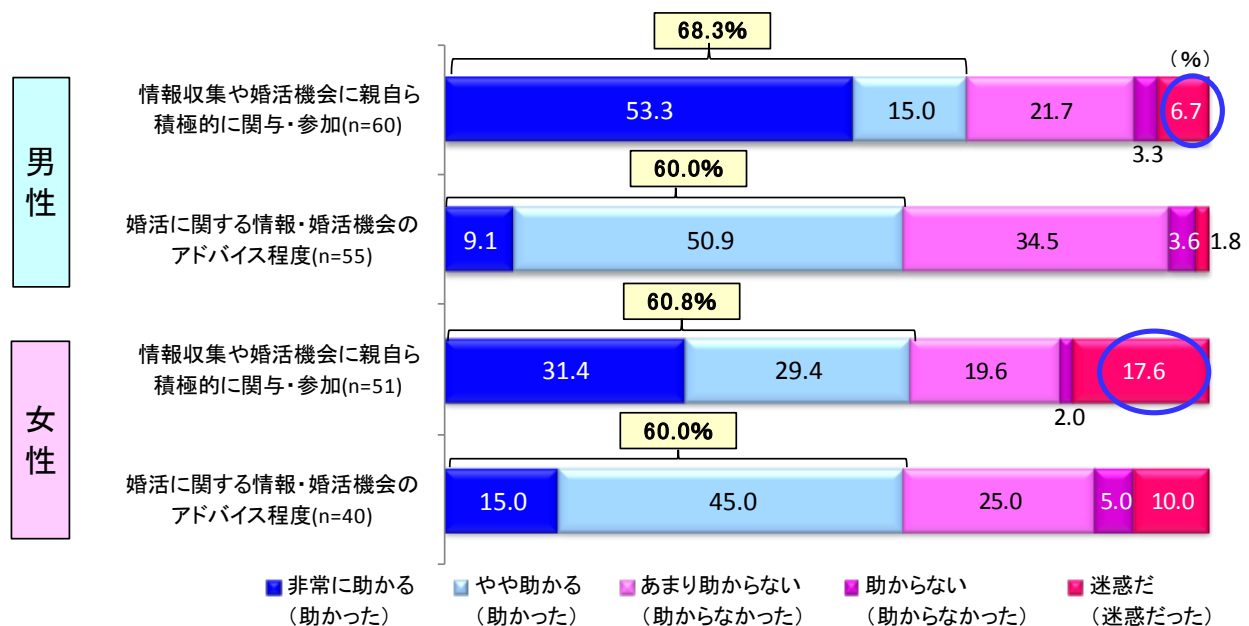


■ 親が婚活に関わることをどう思っている？

➤ 親が婚活に関わっている世帯の子どもが「助かった」と考えているのは6割以上

- ・ 婚活に親が関わった（「情報収集や婚活機会に親自ら積極的に関与・参加」＋「婚活に関する情報・婚活機会のアドバイス程度」）20～40代の未婚・既婚男女に、「親が関与することで、助かる（助かった）かどうか」について訊ねました。
- ・ 親が関わったケースは、男女ともに「助かる（助かった）」（「非常に助かる（助かった）」＋「やや助かる（助かった）」）の回答がいずれも6割を上回りました。
- ・ 前述（P15）した「未婚者が結婚したいと思う理由」では、20・30代男女の3割前後が「親を安心させたい」を挙げており親の期待や気持ちに応えたいと考えています。親が子どもの婚活に関わっている世帯では、迷惑と感じる男性は6.7%・女性は17.6%と多少はありますが、3人に2人が助かる（助かった）と感じており、全体としては親が関わることに對して子どもは「助かる」と考えているようです（図表 10-4）。

図表 10-4 婚活への親の関わり方について思っていること（20～40代の未婚・既婚の男女）



1 1. 結婚生活に関する意識と実態

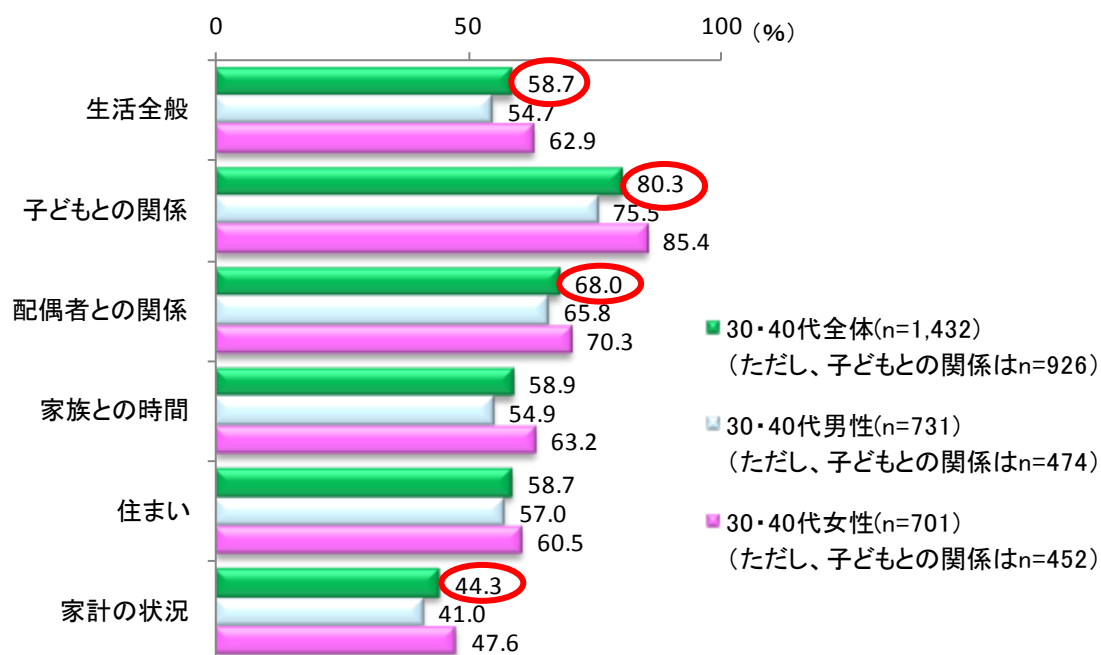
30・40代の結婚生活の満足度は58.7%
収入が高いほど満足度が高く夫婦円満

■ 結婚生活に対する満足度

➤ 「生活全般」の満足度は58.7%、「家計の状況」については44.3%

- ・ 30・40代の既婚の男女に結婚生活に対する満足度を訊ねてみました。
- ・ 満足（「満足」＋「まあ満足」）は、「生活全般」が58.7%で、項目別には「子どもとの関係」が80.3%で最も高く、次いで「配偶者との関係」が68.0%となっており、「家計の状況」は44.3%にとどまっています。
- ・ 男女別では、すべての項目で女性の満足度が男性より高くなっています（図表11-1）。

図表 11-1 結婚生活に対する満足度（30・40代既婚の男女）

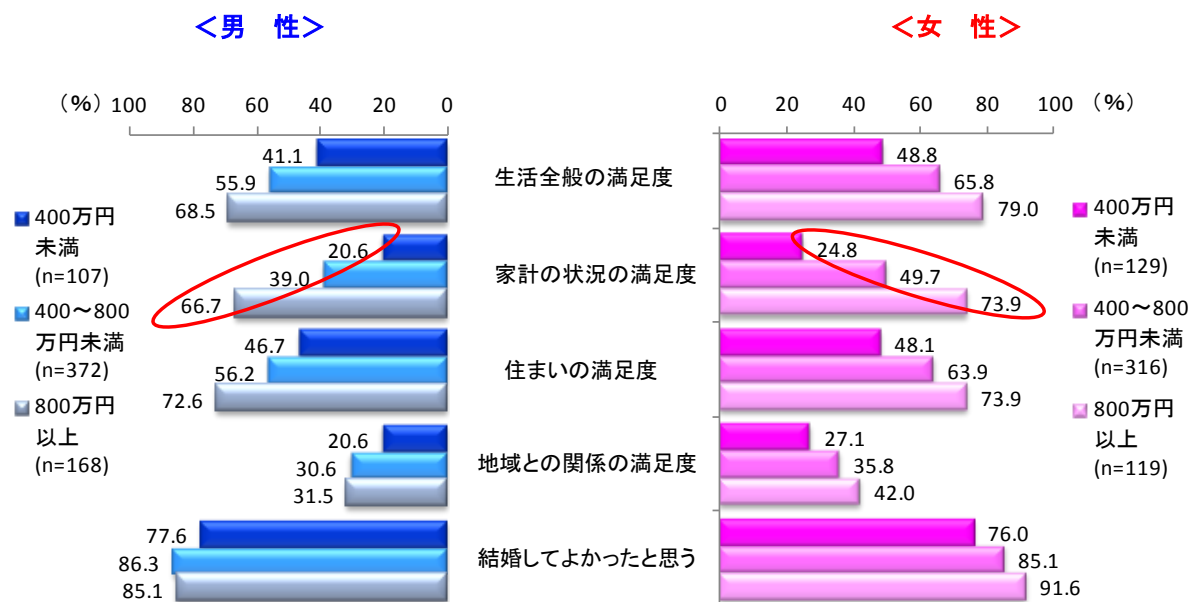


■ 世帯年収別の生活満足度

➤ やはり世帯年収が高いほど「生活に満足」！

- ・ 30・40代の結婚生活についての満足度や意識と世帯年収との関係を見てみました。
- ・ 年収が高いほど「生活全般」の満足度が高く、特に「家計の状況」に関しての満足度で顕著な違いが見られました。
- ・ しかしながら、「結婚してよかったと思う」は、世帯年収による差異はわずかで、どの年収層においても他項目の満足度よりも高く、厳しい生活実態の中でも結婚を前向きに評価していることがうかがえます（図表11-2）。

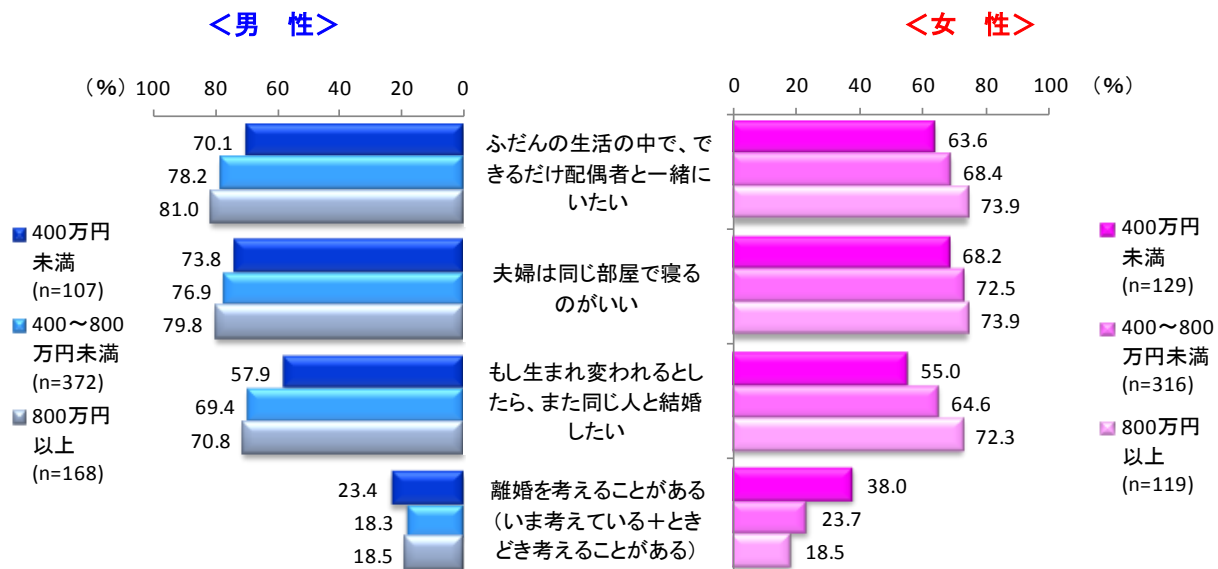
図表 11-2 30・40 代既婚の男女の生活満足度と「結婚してよかったと思う」割合（世帯年収別）



➤ 年収が高いほど夫婦円満！？

- ・ 世帯年収は、配偶者に対する意識にも影響しているようです。
- ・ 年収が高い世帯ほど「ふだんの生活の中で、できるだけ配偶者と一緒にいたい」・「もし生まれ変われるとしたら、また同じ人と結婚したい」が高く、逆に世帯年収が低いほど「離婚を考えることがある」が高くなっています（図表 11-3）。

図表 11-3 30・40 代既婚の男女の配偶者に対する意識（世帯年収別）



■ 結婚に関するさまざまな意識

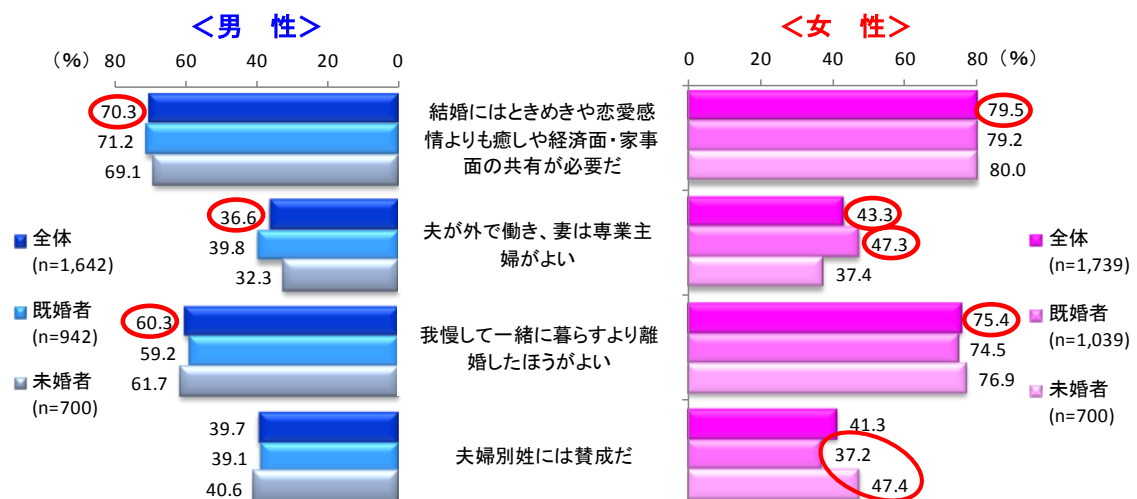
➤ 「結婚には恋愛感情より癒しや経済面・家事面の共有が必要」男性 70.3%、女性 79.5% 女性のほうが男性よりも現実的！？

- ・ 20～40 代男女の結婚に関するさまざまな意識について、男女別・未婚・既婚別に見てみました。
- ・ 「結婚にはときめきや恋愛感情よりも癒しや経済面・家事面の共有が必要だ」に関して肯定的な意見（「そう思う」＋「どちらかというと思う」）は、男性が 70.3%に対し女性は 79.5%と 9.2 ポイント上回り、未婚者・既婚者ともこの傾向は同じです。女性のほうが結婚をより現実的にとらえている様子がうかがえます。
- ・ 「我慢して一緒に暮らすより離婚したほうがよい」は、男性の 60.3%に対し女性は 75.4%と大きく上回っており、未婚者・既婚者ともこの傾向は同じです（図表 11-4）。

➤ 「妻は専業主婦がよい」－ 20～40 代男性の 36.6%、女性の 43.3%が肯定的 「夫婦別姓には賛成だ」は、男女とも 4 割が支持

- ・ 「夫が外で働き、妻は専業主婦がよい」は、男性が 36.6%に対し女性が 43.3%と 6.7 ポイント上回っています。未婚者・既婚者ともこの傾向は同じで、特に既婚女性は 47.3%とほぼ 2 人に 1 人が専業主婦がよいと考えています（図表 11-4）。3 年前の 2013 年度調査との比較では、男性は 40.2%から 36.6%にやや低下しましたが、女性は 43.6%から 43.3%と横ばい傾向です（図表 11-5）。
- ・ 「夫婦別姓」についての考え方は、男女ともに 4 割程度の人が賛成だと考えています。女性では、既婚者の 37.2%に対し、未婚者は 47.4%とほぼ 2 人に 1 人が夫婦別姓を支持しています。既婚者は大半が既に改姓していることもあって「夫婦別姓」に賛成しない人もいるでしょうし、また、キャリア志向や男女平等などの意識は未婚者のほうが既婚者よりも相対的に強いと考えられることも理由の一つでしょう。

図表 11-4 結婚に関するさまざまな意識（20～40 代男女、未婚・既婚別）



図表 11-5 「夫が外で働き、妻は専業主婦がよい」と思う割合の経年比較（20～40 代男女）

		2013 年度調査	今回調査
夫が外で働き、妻は専業主婦がよい	男性	40.2%	36.6%
	女性	43.6%	43.3%

1 2. 配偶者に望むこと

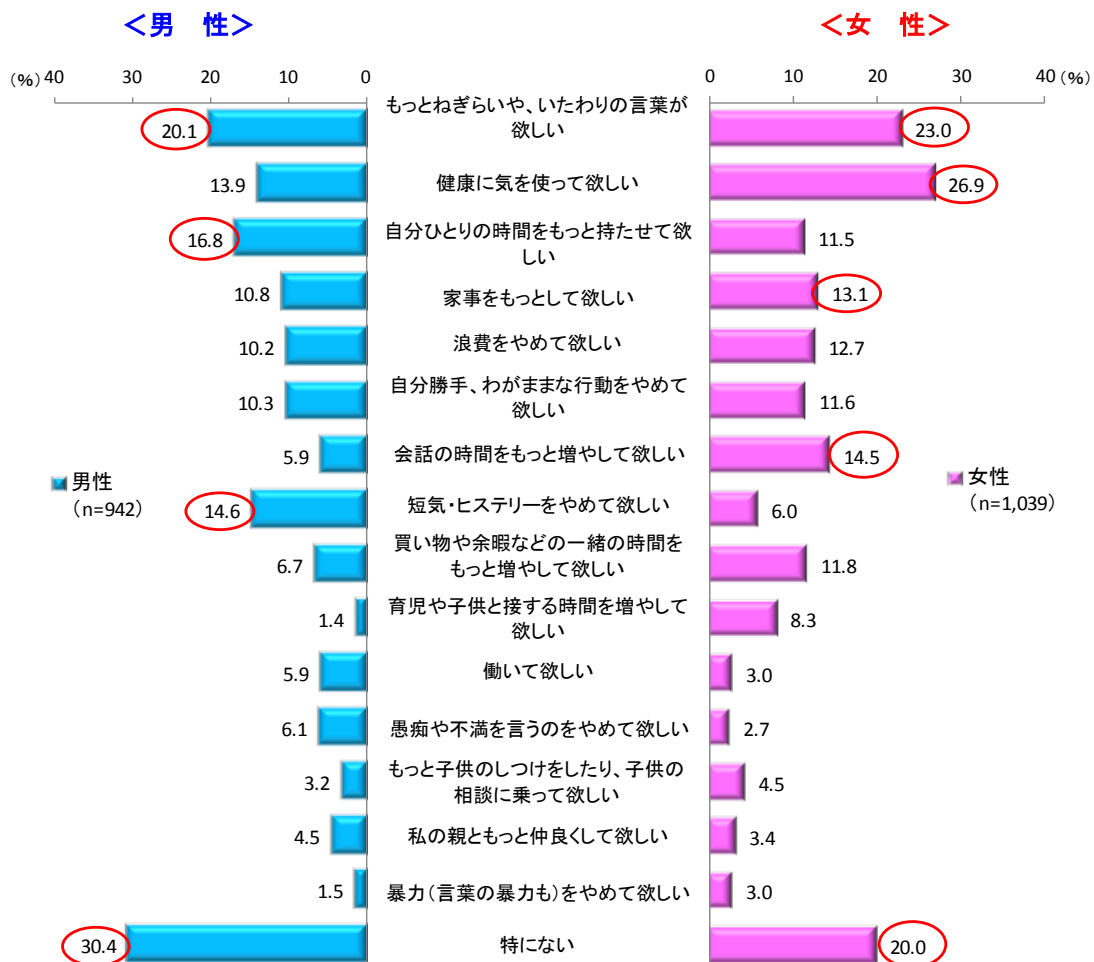
妻には「もっとねぎらいやいたわりの言葉を」・「もっと自分ひとりの時間が欲しい」
 夫には「健康に気を使って欲しい」・「もっとねぎらいやいたわりの言葉を」
 「配偶者に望むことは特にない」 夫は 30% 妻は 20%

■ 配偶者に望むことは

➤ 夫婦のコミュニケーション、ねぎらい、家庭内協力が大切

- ・ 夫が妻に対して望むこと（複数回答）のトップは、「もっとねぎらいや、いたわりの言葉が欲しい」で 20.1%です。次いで、「自分ひとりの時間をもっと持たせて欲しい」・「短気・ヒステリーをやめて欲しい」が続きます。
- ・ 妻が夫に対して望むことのトップは、「健康に気を使って欲しい」で 26.9%です。次いで、「もっとねぎらいやいたわりの言葉が欲しい」・「会話の時間をもっと増やして欲しい」・「家事をもっとして欲しい」の順です。
- ・ 配偶者に望むことは「特にない」人の割合は、夫が 30.4%なのに対し、妻は 20.0%にとどまり、妻から夫への望みや注文のほうが多くなっています（図表 12）。
- ・ 夫婦のコミュニケーションやねぎらい、相手へのサポートが大切だと言えます。

図表 12 配偶者に望むこと（20～40 代既婚の男女：複数回答）



1 3. 離婚に関する意識

20～40 代 男性の 5 人に 1 人・女性の 4 人に 1 人が「離婚を意識」

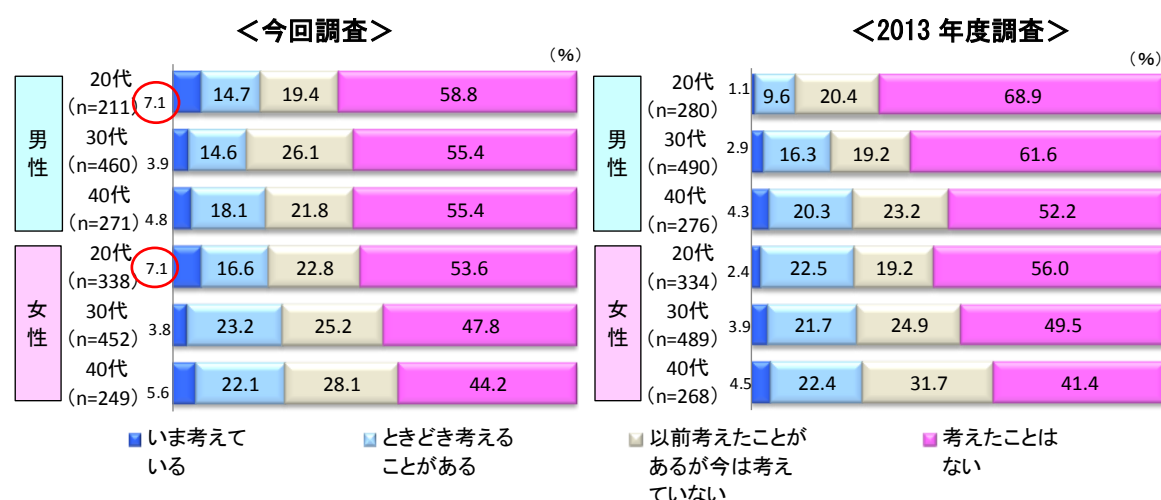
離婚を意識する 20 代男性は 3 年前より倍増

■ 離婚を意識したことがあるか

➤ 離婚を「いま考えている」20 代の割合が、男女ともに 3 年前より増加傾向

- ・ 20～40 代の既婚者のうち、男性の 5 人に 1 人・女性の 4 人に 1 人が離婚を意識（「いま考えている」＋「ときどき考えることがある」）しており、各年代とも女性のほうが男性より高い割合となっています。
- ・ 20 代男性は、3 年前の 2013 年度調査の 10.7%から 21.8%に倍増しています。
20 代では男女とも「いま考えている」が 7.1%と他の年代より高く、2013 年度調査の男性 1.1%・女性 2.4%より高くなっていることが注目されます（図表 13-1）。

図表 13-1 離婚を考えることがあるか（20～40 代既婚の男女）



➤ 離婚を考える理由－「性格・価値観の不一致」・「金銭感覚の不一致」が上位

- ・ 離婚を考える理由（複数回答）のトップは「性格・価値観の不一致」で男女とも 55%程度が挙げており、次いで「金銭感覚の不一致」が続きます。男性は「生活時間のすれ違い」・「配偶者の親・家族との関係」と続きます。女性は「家事・育児に協力的でない」・「配偶者の親・家族との関係」となっています。
- ・ 2013 年度調査との比較では、「性格・価値観の不一致」・「配偶者の親・家族との関係」が低下し、「生活時間のすれ違い」が増加しています（図表 13-2）。

図表 13-2 離婚を考える理由（20～40 代既婚の男女：複数回答）

